

第5章

安全・安心で 快適なくらしができるまち (社会基盤)



羊山公園芝桜の丘

政策1 安全・安心なまちづくり

現状と課題

- 自助・共助・公助のバランスを重視した防災力の強化に取り組んでいます。
- 市民からの空き家相談等の対応を通じて管理不全な空き家等への助言・指導を進めていますが、解決に至らない例が多い状況です。
- 交通安全を推進するため、交通安全教室の開催や注意看板の設置、横断歩道の設置要望などに取り組んでいます。交通事故の劇的な減少には至っていない状況です。
- 消費者被害防止の取組を続けていますが、多様化・巧妙化する手口による消費者被害は後を絶ちません。消費生活センターの体制を充実・強化するなど消費者被害防止対策に取り組んでいる状況です。
- 山間部の情報格差是正のため、施設の維持を継続していく必要があります。
- 人権意識の高揚を図るため、効果的な人権教育及び人権啓発の推進が必要です。
- 市民協働を促進するため、地域コミュニティの強化や広報機能の充実も図られています。

現況データ

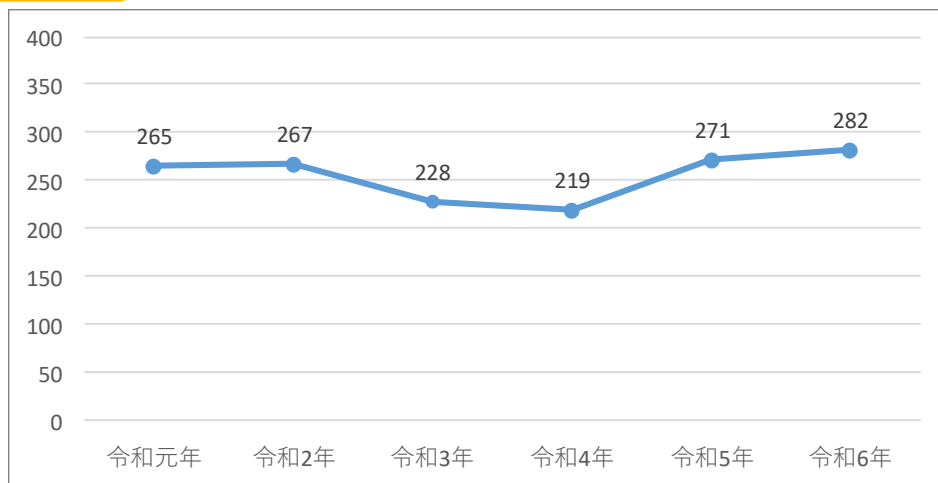


図13 秩父市内における刑法犯認知件数の推移

施策の方向性

(1) 防災力・防犯対策の強化

- 自主防災組織(町会)への支援を強化し、災害対応備品整備の促進を図ります。
- 地域における犯罪抑止のため防犯灯の設置を進めながら、防犯カメラの設置及



び防犯用具の購入補助事業の拡充を図り、市民の防犯意識の向上を図ります。

- 職員防災訓練の内容を充実させ、職員の災害時の対応力を向上させます。
- 空き家実態調査によるデータを活用し、総合的な空き家等対策計画の作成を図ります。
- 地域防災の要となる消防団の処遇改善や装備品の充実等により、持続可能な消防団運営を図ります。

(2)安全・安心な市民生活

- 警察や交通安全母の会などの関係団体と連携し、引き続き交通安全対策の強化に取り組みます。
- 新たな形の消費者被害への対応も含め、消費者被害防止対策を充実させます。
- 学校教育において、成長段階に応じた適切な指導により、豊かな人間性と人権意識の育成に努めます。
- 光ファイバー網や地上デジタル信号再放送設備を維持し、地域住民が必要な情報にアクセスできる環境を整備します。

(3)市民協働と情報共有

- 市民活動の支援を通じて、市民との協働のまちづくりを進めます。
- 姉妹都市や友好都市等との交流を継続するとともに、外国籍市民に対する言語支援等を充実させます。
- 広報・広聴機能の充実を図り、市民がまちづくりに参画する機会を提供します。
- 男女共同参画社会の進展に引き続き取り組みます。
- 部落差別や障がいを理由とする差別等の解消に向け制定された法律、条例等の趣旨を踏まえて、引き続き人権教育・人権啓発を推進し、人権意識の高揚を図ります。

施策の目標値

達成指標	現状実績	R8	R9	R10	R11 目標
自主防災組織が自主的に運営する避難所数	0 件(R6)	1件	1 件	1 件	2 件
防犯灯設置数	5,489 基(R6)	5,550 基	5,610 基	5,670 基	5,730 基
交通安全教室受講者数	4,659 人(R6)	6,400 人	6,400 人	6,400 人	6,400 人

政策2 生活基盤(上下水道)の整備

現状と課題

- 水道事業及びし尿処理事業は秩父広域市町村圏組合により運営されています。
- 公共下水道事業では、施設の老朽化が進んでおり、計画的な点検及び改築の実施が課題となっています。また、上下水道を一体的に捉え、病院や避難所等が接続する管路や処理場等の急所施設の耐震化も必要とされています。
- 農業集落排水事業では、人口減少に伴い使用水量が減少しており、施設の処理能力に見合った処理が行われなくなることが見込まれます。また、施設の維持管理費が年々増加しているため、効率的な運営管理を行う必要があります。
- 戸別合併処理浄化槽事業では、公共用水域の汚染の原因となる単独浄化槽や汲み取り便槽の残存が課題となっており、より高性能な合併処理浄化槽への転換が求められています。また、設置・使用後の確実な維持管理も必要とされています。

現況データ

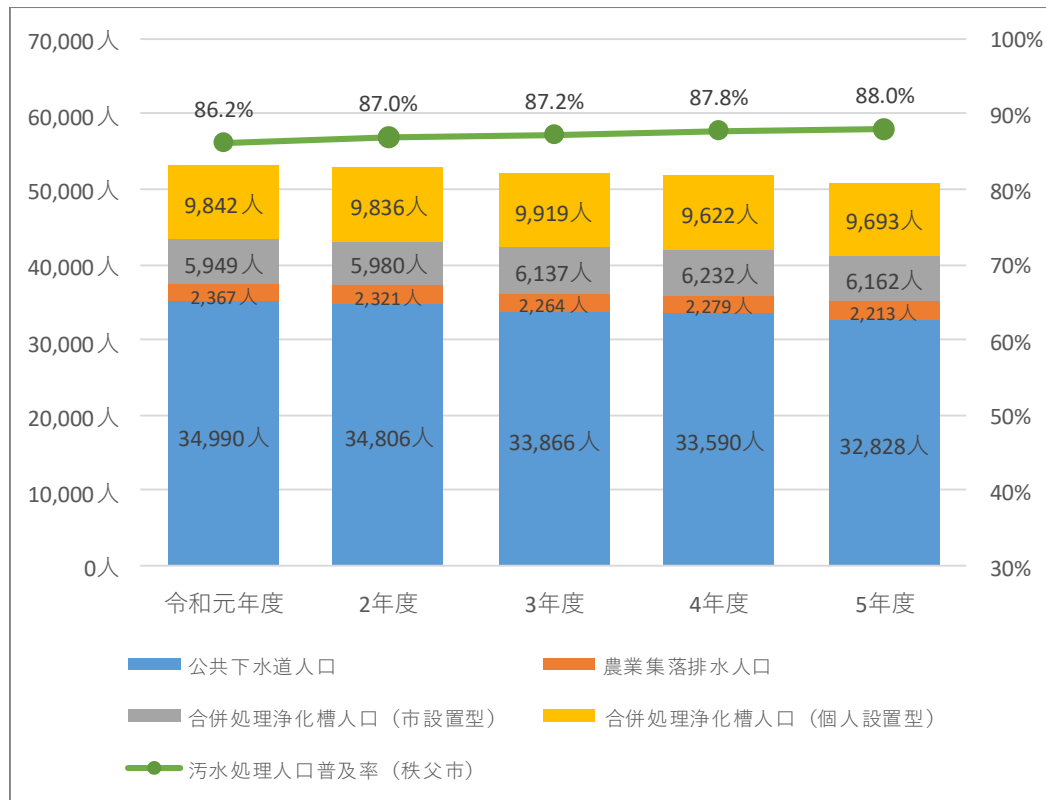


図14 汚水処理人口と普及率の推移

施策の方向性



(1) 秩父広域市町村圏組合との連携

- 負担金、出資金等を支出するに当たり、構成市町において連携した事業が推進されるよう、秩父広域市町村圏組合に働き掛けていきます。
- 水道事業については、老朽化した管路や浄水施設等の耐震化及び災害時を想定した重要給水施設管路の整備を優先的に進めるよう働き掛けていきます。また、効率的な事業運営のため、適正な水道料金水準の確保及び有収率の改善を進めるよう働き掛けていきます。
- し尿処理事業については、老朽化した既存 3 施設を統合した新処理施設の建設事業を進めるよう働き掛けていきます。

(2) 汚水処理施設の整備

- 公共下水道事業では、下水道ストックマネジメント計画や上下水道耐震化計画に基づき、管きょ等の点検を行うことにより、老朽化した施設の改築などを進めます。
- 農業集落排水事業では、最適整備構想に基づき、処理施設の規模の見直しや再編・集約を行うことにより、施設の長寿命化と最適化を図ります。
- 戸別合併処理浄化槽事業では、新たに循環型社会形成推進地域計画を策定し、公共浄化槽の整備促進に努めます。

施策の目標値

達成指標	現状実績	R8	R9	R10	R11 目標
管きょ点検実施率 (ストックマネジメント計画)	15% (R6 末)	-	15%	-	23%
公共浄化槽設置基数	2,413 基 (R6 末)	2,570 基	2,630 基	2,690 基	2,750 基

政策3 地域基盤の整備

現状と課題

- 人口減少や高齢化が進む中、地域の活力を維持しながら生活機能を確保するためには、公共交通と連携して各地域を効果的に繋ぎ都市機能を共有する「コンパクト＋ネットワーク」のまちづくりが必要です。
- 地域公共交通を支える沿線人口が減少する中、公共交通サービスを維持・確保するためには、地域の状況を踏まえた公共交通体系の再構築が求められています。
- 各地域の住民が便利で安心・安全に暮らすためには、地域間のアクセス向上や生活道路の整備・改善が必要であり、地域基幹道路(国・県道)を含めた道路交通網の更なる充実が期待されています。
- 既存道路・公園・上下水道・市営住宅等の公共施設の老朽化が進行しており、長期的視点に立った計画的なインフラメンテナンスが必要です。
- 近年の観光誘致施策の成果により、市街地にも周遊客が増加しており、景観に配慮したまちなみの整備が求められています。
- 誰もが快適に過ごせるまちを実現するためには、防災や子育てなど多面的な機能を持つ公園などの身近なオープンスペースの確保が求められています。また、観光誘客を含む関係人口の創出に向けた方策として、魅力的な公園づくりを進める必要があります。

現況データ

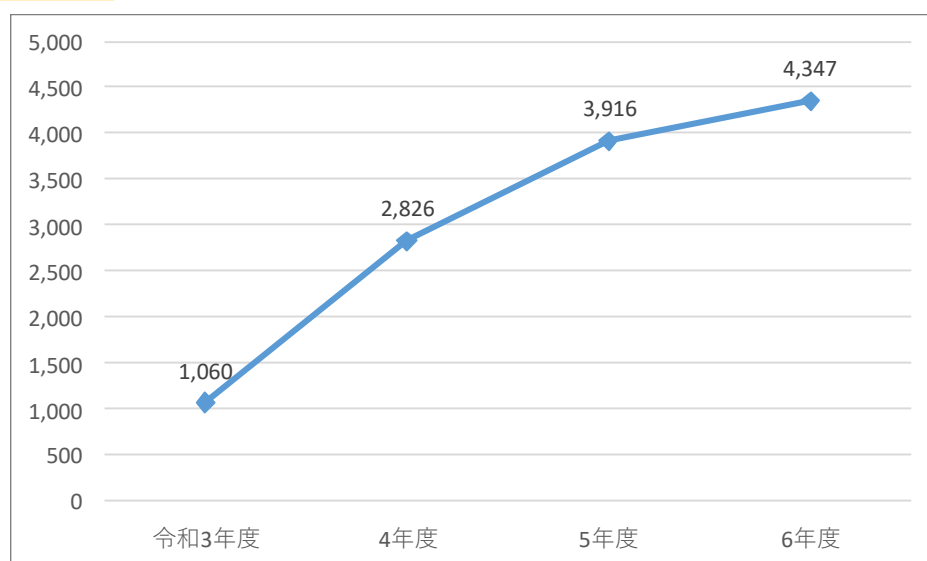


図 15 舗装個別施設計画に基づく舗装修繕累積延長(m)

施策の方向性



(1)道路交通網等の整備

- 地域公共交通の維持・確保を図るため、利便性の向上や、利用喚起・促進に向けた施策を講じ、市民や観光客に選ばれる持続可能な公共交通の実現を目指します。
- 国道や県道など地域基幹道路の整備については、各計画の早期実現を目指し、県と協力体制を構築するとともに、国や県への要望活動を進めます。
- 市の幹線道路や生活道路については、地域ニーズや重要度・緊急度などを勘案し、効果的な道路整備を進めます。
- 橋りょうやトンネルを含む道路施設の老朽化対策については、予防保全によりトータルコストの縮減と予算の平準化を図り、計画的な点検・修繕を進めることで、持続可能な維持管理に努めます。

(2)まちなみ・住環境の整備

- コンパクト+ネットワーク社会の実現に向け、「都市計画マスタープラン」及び「立地適正化計画」に基づいたまちづくりを計画的に進めます。
- 景観重点地区の指定など、景観に配慮したまちづくりを進めます。
- 空き地などを活用した身近なオープンスペースの確保に取り組みます。
- 公園施設の老朽化対策として、「秩父市公園施設長寿命化計画」に基づき、計画的な修繕を行います。また、観光誘客を促進する魅力的な都市公園の整備を進めます。
- 市営住宅の老朽化対策として、「秩父市市営住宅等長寿命化計画」に基づき、計画的な修繕・改善事業を行います。また、管理戸数の適正化を図るため、用途廃止とした住宅については解体撤去を進めます。

施策の目標値

達成指標	現状実績 (R6)	R8	R9	R10	R11 目標
橋りょうの法定点検率(※)	16.3%	67.8%	98.3%	100%	16.3%
路線バス年間利用者数	108,746 人	134,000 人	134,000 人	134,000 人	134,000 人
居住誘導区域内人口密度	35.3 人/ha	-	-	-	36 人/ha

※橋りょうの法定点検数の累計進捗率(全 460 橋の点検を 5 年に 1 度の頻度で実施、R6～R10 が 3 巡目、R11 から 4 巡目を開始)

